

2026

日本社会事業大学  
専門職大学院

リカレント

講座

福祉現場実践に役立つ全10講座

**日本社会事業大学 専門職大学院 とは？**

日本で最初に開設された福祉専門職大学院です。  
実践家の育成に重きを置き、仕事と学びの両立を  
積極的に支援する体制を整えています。

# リカレント講座とは

このリカレント講座は、日本社会事業大学専門職大学院が今まで培ってきた教育・研究のノウハウを活かし、社会福祉従事者の実践力を高めることを目的とした講座です。新しい手法や時宜にかなった実践事例、基本的なスキルの振り返りなど、現場実践者のニーズに応え、現場実践に役立つような講座を準備いたしました。ぜひ、多くの方々に受講していただき、実践力向上の一助となれば幸いです。

講座 No.	講座名	講師名
R1	知的障害者の看取りから考える 意思形成支援	鶴岡 浩樹
R2	福祉組織における ソーシャルワークスーパービジョン	木戸 宜子
※ R3	リフレクティング・プロセス を用いた事例検討	須江 泰子
R4	包括的支援体制からつながる 災害対応	北川 進
R5	リスクマネジメント	北川 進
R6	スクールソーシャルワーク	郭 理恵
R7	災害ソーシャルワーク	北川 進
R8	在宅療養支援の方法	鶴岡 浩樹
R9	ニーズとイノベーション	瀧脇 憲
R10	認知症ケアの基礎理論	永島 徹

※ R3 は現在支援に従事されている方が対象です。

## 自分に合った学び方が選べます!

こんな方におすすめです。

R1~R4

1回講座

- ・気軽に体験してみたい方
- ・短時間で効率よく学びたい方
- ・対面で学びたい方

R5~R10

連続講座

- ・より深く学びたい方
- ・専門職大学院の授業を体験したい方
- ・平日の夜お仕事の後に学びたい方

お申込みは本学  
Webサイトから



詳細はP9をご覧ください。

日程	時間	実施形態	受講料
10月24日(土)	13:30~16:30	対面	2,000円 (税込)
10月24日(土)	13:30~16:30	オンライン	2,000円 (税込)
11月21日(土)	13:30~16:30	対面	2,000円 (税込)
11月21日(土)	13:30~16:30	オンライン	2,000円 (税込)
9月4・11・18・25日(金)	18:50~22:00	オンライン	10,000円 (税込)
10月1・8・15・22日(木)	18:50~22:00	オンライン	10,000円 (税込)
10月2・9・16・23日(金)	18:50~22:00	オンライン	10,000円 (税込)
10月30日・ 11月6・13・20日(金)	18:50~22:00	オンライン	10,000円 (税込)
10月31日・ 11月7・14日(土)	9:00~12:10 (10月31日・11月14日) 9:00~16:10 (11月7日)	オンライン	10,000円 (税込)
10月31日・ 11月7・14日(土)	9:00~12:10 (10月31日・11月14日) 9:00~16:10 (11月7日)	オンライン	10,000円 (税込)

各講座の詳細は次のページから

## 知的障害者の看取りから考える意思形成支援

講師：鶴岡 浩樹（本学教授）

日時：10月24日(土)13:30～16:30 定員：30名

受講料：2,000円(税込)

高齢重度知的障害者の看取りを通して、本人の意思形成支援を考える研修です。高齢化の現状、看取りの実態、看取り導入マニュアル、意思決定支援やACP、緩和ケア、専門職の役割を学びます。グループワークでは、重度知的障害者の意思表示や死の受け止め、豊かで幸せな生涯を支える支援について検討し、日々の支援の視点を見直す機会とします。

## 13:30-14:15 講義1

- ・高齢知的障害者とは
- ・高齢知的障害者の看取りの現状
- ・知的障害者看取り導入マニュアルの紹介

## 14:15-14:45 グループワーク1

## 14:55-15:40 講義2

- ・意思決定支援、ACPの現状と今後
- ・障害特性や障害支援現場の緩和ケア
- ・高齢化や看取りに関連した看護師の役割
- ・オーストラリアと日本の看取りの比較

## 15:40-16:10 グループワーク2

## 16:10-16:30 全体討議

ゲスト講師：根本昌彦氏

(国立重度知的障害者総合施設のぞみの園 研究・人材養成部 参事/研究員)

コーディネーター：鶴岡浩樹

福祉組織における  
ソーシャルワークスーパービジョン

講師：木戸 宜子（本学教授）

日時：10月24日(土)13:30～16:30 定員：30名

受講料：2,000円(税込)

福祉組織の事業を進めていく上で、ソーシャルワークのスーパービジョンが注目され、必要だという認識が高まっています。今日のソーシャルワークにおいては対人支援から地域支援まで幅広い対応が求められており、実践では支援困難な状況や多様なニーズなど様々な課題に迫られます。実践者一人で抱え込まず、組織としての成果をあげるためのスーパービジョンが必要です。本講座では、福祉組織に備えられているスーパービジョン体制について、みなさんと考えてみたいと思います。

## 13:30-14:00

グループスーパービジョンを受けて（話題提供 専門職大学院修了生）  
認定社会福祉士制度のグループスーパービジョンを受けて考えたこと、学んだこと  
をお話しいただきます。

## 14:00-15:00

福祉組織におけるスーパービジョン体制のあり方（進行 木戸宜子）  
福祉組織の特性をふまえて、求められるスーパービジョン体制のあり方、ソーシャルワークスーパービジョンをどう展開していくかについて考えます。

## 15:10-16:30

ソーシャルワークスーパービジョンの活用（進行 木戸宜子・木幡伸子）  
スーパーバイザー、スーパーバイジーなど、参加者それぞれの立場から、ソーシャルワークスーパービジョンの活用について考えてみましょう。講師の提示する事例場面について、リフレクティングを用いて、ロールプレイによりスーパービジョンを体験してみます。

## リフレクティング・プロセスを用いた事例検討

講師：須江 泰子（本学准教授）

日時：11月21日(土)13:30～16:30 定員：20名

受講料：2,000円(税込)

リフレクティングは、「はなす」ことと「きく」ことを丁寧に重ね合わせ、うつし込みながら展開していく「会話について会話する」方法です。相談する人と聞く人が一方向の関係性ではなく、多様な視点を共有し、相談した人自身が新たな気づきを得たり、アイデアを見つけたりすることを可能にしていきます。

本講座では、この手法を用いて事例検討を体験し、事例提供者が安心して省察し、支援の質の向上を目指す場の在り方を考えます。

13:30-14:20

講義：支援実践の場における「リフレクティング・プロセス」の可能性

14:30-16:00

演習：リフレクティング・プロセスを用いた事例検討

16:00-16:30

討議：実践者に求められる事例検討の場とは

進行：須江泰子

\*本講座は、現在支援に従事されている方のみが対象です。演習を効果的に行うため、実施は対面のみとなります。事例提供者も同時に募集します。

参考文献：矢原隆行『リフレクティング - 会話についての会話という方法 -』ナカニシヤ出版、2016。矢原隆行『矯正職員のためのリフレクティング・プロセス』公益財団法人矯正協会、2024。

## 包括的支援体制からつながる災害対応

講師：北川 進（本学准教授）

日時：11月21日(土)13:30～16:30 定員：30名

受講料：2,000円(税込)

包括的支援体制構築に向けた取組みが各自治体で進められています。支援を必要とする方が取り残されることのないよう福祉専門領域が垣根を越えて協働し、住民も地域での活動の主体となるこの取組みは、まさに災害時にも展開されるものです。つまり、包括的支援体制が整うことは、災害時の準備にもつながることと言えます。平時の包括的支援体制と災害時の実践がどう結びつくのか、災害対応を特別なこととして捉えず、平時の取組みの延長線上にあることを受講者の皆さんとともに考えます。

13:30- 趣旨説明 北川進

13:50- 実践報告「阪南市社会福祉協議会における包括的支援体制の取組みと災害対応への接続」報告者：猪俣健一氏（阪南市社会福祉協議会事務局次長）

平時の包括的支援体制の取組みを事例提供いただき、これら実践が災害時対応にどう結びつくかを阪南市社協の取組みからお話いただきます。

15:00- ディスカッション「平時の取組みが災害時に生きるために必要な取組み、要素とは」小グループに分かれ受講者同士で意見交換を行い、猪俣氏を交え質疑応答と、平時と災害時のシームレスな取組みに必要な要素は何かをディスカッションをします。

16:15- まとめ

16:30- 終了

R5

## リスクマネジメント

講師：北川 進（本学准教授）

日時：9月4・11・18・25日(金)18:50～22:00 定員：20名

受講料：10,000円(税込)

リスクマネジメントの基本原則と基本プロセスを正しく理解したうえで、福祉サービスにおけるリスクマネジメント体制構築手法を理解し、これらを通じて福祉専門職が備えるべき専門的知識及び技術の業務への展開－目的・価値・体系及び体系と共通する課題、課題が発生する背景について実践的に学ぶ。

### 【1日目】

- ・リスクマネジメント概念とプロセス
- ・リスクの理解 リスクの洗い出しと評価

### 【2日目】

- ・福祉サービスにおけるリスクマネジメントの必要性
- ・事故の分析方法、再発防止対策・有効性評価

### 【3日目】

- ・利用者家族とのリスクコミュニケーション
- ・苦情クレーム対応 職場で活かすリスクマネジメント

※ゲスト講師を交え現場実践について考える。

### 【4日目】

- ・予防的リスクマネジメント
- ・事業継続計画（BCP）

R6

## スクールソーシャルワーク

講師：郭 理恵（本学非常勤講師）

日時：10月1・8・15・22日(木)18:50～22:00 定員：10名

受講料：10,000円(税込)

子どもをめぐる福祉的課題が山積している。本講座では、ソーシャルワーク等各種の理論や技術を学びながら、スクールソーシャルワーカーにとって必要不可欠な児童・家庭に対する支援方法を検討し、実践への応用を目指す。また、内容に即したゲスト講師をお招きし、子どもを取り巻く社会の多様性を捉えるとともに、子どもの最善の利益を踏まえたチーム援助のあり方や包括的な視点を養う。

### 【1日目】

- ・スクールソーシャルワーク(SSW)の視点/スクールソーシャルワーカーの仕事と役割
- ・SSWの価値・倫理・子ども観

### 【2日目】

- ・SSWの展開過程
- ・学校文化の特徴と就学前・学校種別の実践技術

### 【3日目】

- ・SSWの実際/児童虐待・ヤングケアラー事例をもとに
- ・SSWの実際/いじめへの対応

### 【4日目】

- ・SSWの実際/特別支援教育と合理的配慮
- ・SSWの実際/子どもの貧困へのアクションと居場所づくり

R7

## 災害ソーシャルワーク

講師：北川 進（本学准教授）

日時：10月2・9・16・23日(金)18:50～22:00 定員：20名

受講料：10,000円(税込)

災害支援の場面を通して教員が提示する事例をもとに、災害時特有の課題、被災者が自立していくために必要な災害時ソーシャルワークの視点とは何かを理解する。自らの専門領域における災害支援のあり方、日ごろの取組みを見出し、ソーシャルワーカーに必要な具体的な支援の視座と方法を学ぶ。

## 【1日目】

- ・オリエンテーション、災害ソーシャルワーク、被災地の地域福祉の概要
- ・被災者がおかれる現状と必要な支援

## 【2日目】

- ・被災当事者の意思決定と支援者側との乖離
- ・支援者の力とそれらを活かす調整力（コーディネーション）

## 【3日目】

- ・被災地の復旧から復興期の地域づくり
- ・復興期における地域福祉

## 【4日目】

- ・災害時における要援護者の支援と事前の地域づくり
- ・全体総括と専門領域における日ごろの取組み

R8

## 在宅療養支援の方法

講師：鶴岡 浩樹（本学教授）

日時：10月30日・11月6・13・20日(金)18:50～22:00

定員：20名 受講料：10,000円(税込)

地域包括ケアシステムや地域共生社会を意識し、複雑化する在宅療養者に対する支援の現状と課題を明らかにするとともに、現場で必要な知識やスキルを整理する。在宅療養している当事者の居宅環境、介護力、地域の社会資源等を把握し、必要な医療処置とケアを考慮の上、個別の事情に応じた生活支援を行えることを目標とする。多くのワークを行い、日々の実践に活かすことができるよう学びを深めていく。

## 【1日目】

- ・なぜ在宅医療が推進されているのか？
- ・在宅医療の実際

## 【2日目】

- ・在宅医療とナラティブ
- ・障害児者の在宅医療、介護ロボット等の新技術

## 【3日目】

- ・リハビリテーション
- ・介護保険と医療保険のしくみ、地域社会資源の活用

## 【4日目】

- ・在宅看取りの支援
- ・地域力を向上させるには

R9

## ニーズとイノベーション

講師：瀧脇 憲（本学特任准教授）

日時：10月31日・11月7・14日(土)9:00～12:10(10月31日・11月14日)  
9:00～16:10(11月7日) 定員：10名 受講料：10,000円(税込)

社会福祉の課題が多様化・複雑化する中で、地域のニーズを分析することで必要なサービス・事業の創設につながる手順を学ぶ。福祉サービス・事業のイノベーションに取り組むゲストスピーカーを招聘し、実際の実践内容を理解する。

## 【1日目】

- ・福祉ニーズをめぐる諸言説について考える（講義）
- ・ソーシャル・イノベーションのプロセスを学ぶ（講義と演習）

## 【2日目】

- ・事例に基づいてソーシャル・イノベーションを理解する（講義）
- ・ソーシャル・イノベーションを計画する（演習）
- ・中間支援によるイノベーションの促進（講義）
- ・中間支援によるイノベーションの促進（演習）

## 【3日目】

- ・評価手法を用いて事例を分析する（講義）
- ・評価手法を用いて事例を分析する（演習）

R10

## 認知症ケアの基礎理論

講師：永島 徹（本学特任教授）

日時：10月31日・11月7・14日(土)9:00～12:10(10月31日・11月14日)  
9:00～16:10(11月7日) 定員：10名 受講料：10,000円(税込)

これまでの認知症についてのオールドカルチャーの認識によるケアから、新しい認知症観を含めたニューカルチャーによる認知症ケアへ更新するために、組織や個人、地域の認知症観を変えるために必要な知識、技術、価値を習得するために、講義、演習を行う。また、ゲストスピーカーによる講話を通じて学習をより深めていく。

## 【1日目】

- ・認知症ケアの変遷
- ・認知症ケアの制度変遷

## 【2日目】

- ・認知症の当事者の声から学ぶ
- ・家族支援
- ・認知症ケアを実践する上での心構え
- ・地域生活支援

## 【3日目】

- ・パーソン・センタード・ケア（認知症の人を支援する上での理念）
- ・ひもときシートとセンター方式シート

# 注意事項

## ▶ 講座の変更

- ・内容・スケジュール等が若干変更になる場合があります。
- ・社会情勢の変化により、対面を予定している講座を Zoom のみのオンライン講座に切り替える場合があります。

## ▶ 講座の中止

以下の理由で講座が中止になった場合は、受講料を返金いたします。

- ・受講生が一定人数に満たないとき講座を中止する場合があります。（中止決定は、講座開始日の7日～10日前に行います。）
- ・講師の緊急の都合などにより、中止、延期、時間短縮、講師の代講となることがあります。

## ▶ 受講料の返金等

以下の場合、受講料の返金および減額はいたしかねます。

- ・自己都合により途中で中断された場合
- ・緊急の都合により、講師が変更になった場合

## ▶ 休講・補講

以下の場合、原則として補講を行います。

- ・講師の都合や気象状況、感染症の流行等により、やむをえず休講とする場合
- ・突発事故等により、開始時間より30分経過しても講義ができず、休講とする場合



休講・補講情報

なお、休補講の情報は、原則本学 Web サイトにてお知らせいたしますので、受講の前に各自ご確認くださいませようお願いいたします。

## ▶ 受講キャンセル

講座開始日の8日前までにご連絡をいただければ、お振込みいただいた受講料は手数料を控除し返金いたします。それ以降にキャンセルされる場合は返金できませんのでご了承ください。

## ▶ その他

- ・オンライン受講者は、各自におけるインターネット環境及びノートパソコン等（マイク・カメラ付）が必要となります。
- ・専門職大学院の授業を一部公開している講座の場合は、本学学生も一緒に講義を受けます。
- ・講座で使用するテキスト代が別途かかる場合があります。
- ・駐車スペースがありませんのでお車でのご来場はご遠慮ください。
- ・申し込み者以外の方による変更依頼は一切お受けできません。
- ・障がい等のために特別な配慮が必要な方は、申込時に配慮内容をご相談ください。
- ・お申し込みの際の個人情報、参加者名簿作成、案内書等の送付、緊急時の連絡、本学が開催する同様のイベント案内以外には利用しません。

# お申込み・受講方法

受講のお申し込みは、本学 Web サイトの参加申込フォームとし、定員になり次第締め切らせていただきます。  
なお、電話・FAX でのお申し込みは受け付けておりません。

- ①本学 Web サイトの**申込フォーム**からお申込ください。



<https://www.jcsw.ac.jp/senmonshoku/recurrent/list/>



- ②振込案内、申込内容がメールで自動返信されます。(メールが届かない場合はご連絡ください。)

※本学通信教育科在学生の方及び同窓会からの申し込みは、別に指定された方法で申込み下さい。



- ③受講料を金融機関よりお振込みください。

※振込手数料は受講者様負担とさせていただきますのでご了承ください。

【銀行】三井住友銀行 清瀬支店  
【店番号】849【口座番号】普通 4474811  
【名義】学校法人 日本社会事業大学  
(ガッコウハウジン ニホンシャカイジギョウダイガク)



- ④ご入金を確認できましたら、遅くとも受講日の前日までにはお申込み時にご登録いただいたメールアドレス宛に授業案内のメールをお送りいたします。

大学院教務課 ([inkyomu@jcsw.ac.jp](mailto:inkyomu@jcsw.ac.jp)) からのメールを受信できるようにしておいてください。



- ⑤当日は、お申込みの参加形態で受講してください。

～個人情報の取り扱いについて～

日本社会事業大学専門職大学院リカレント講座では、収集した個人情報を申込受付、パンフレットまたは本学が開催する同様のイベント案内の送付、講座運営及びこれに関わる連絡等のために利用させていただく場合があります。その際、当該個人情報の漏洩・流出・不正利用がないよう、必要かつ適切な管理を行います。

## 講座会場(対面)アクセス



### 東京メトロ丸ノ内線「茗荷谷駅」下車徒歩5分

駅前より春日通りに出て、後楽園方面へ。  
ファミリーマートを左折して、1つ目の信号を右へ。



### 文京キャンパス

〒112-0002 東京都文京区小石川5-10-12

～実践力とマネジメント力の向上を目指す～

## 日本社会事業大学大学院 福祉マネジメント研究科

〒204-8555

東京都清瀬市竹丘 3-1-30

日本社会事業大学 専門職大学院  または



お問合せ **大学院教務課**

TEL : 042-496-3106 MAIL : inkyoumu@jcs.ac.jp